

家庭科 評価規準 中小岩小学校 6年

大題材名		8. 私の仕事と生活時間
配当時数		2 時間
大題材の目標		生活時間について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	9. 朝食から健康な1日の生活を			
配当時数	10 時間			

大題材の目標		朝食の役割と栄養，いためる調理について，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，調理計画を考え，いためる調理の仕方を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに，いためる調理について理解し，適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養を考えた食事，いためる調理について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として，生活をよりよくしようと，食事の役割と栄養を考えた食事，調理の基礎について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。

大題材名	10. 夏をすずしくさわやかに				
配当時数	8 時間				

大題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて，「健康・快適・安全」などの視点から，課題をもって，基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ，夏をすずしく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え，工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに，日常着の手入れの仕方を理解し，適切にできる。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し，さまざまな解決方法を考え，実践を評価・改善し，考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として，生活をよりよくしようと，快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，ふり返って改善したりして，生活を工夫し，実践しようとしている。

大題材名	11. 思いを形に 生活に役立つ布製品
配当時数	14 時間

大題材の目標		生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	12. まかせてね 今日の食事
配当時数	10 時間

大題材の目標		栄養を考えた食事について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、1 食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、栄養のバランスを考えた 1 食分の献立を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	13. 冬を明るく暖かく
配当時数	5 時間

大題材の目標		冬の快適な住まい方や衣服の着方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

大題材名	14. あなたは家庭や地域の宝物
配当時数	2 時間

大題材の目標		家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。また、これまでの学習をふり返ってできるようになったことを確認し、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫し、家庭や地域で実践しようとしている。

大題材名	自由研究(家族・家庭生活についての課題と実践)
配当時数	3 時間 (実践は家庭で行うことを前提とする。)

大題材の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	-
	思考・判断・表現	家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事または家族や地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。